

# 貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目                    | 金 額           | 科 目                    | 金 額           |
|------------------------|---------------|------------------------|---------------|
| ( 資 産 の 部 )            |               | ( 負 債 の 部 )            |               |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>78,674</b> | <b>流 動 負 債</b>         | <b>16,033</b> |
| 現 金 及 び 預 金            | 60,453        | 未 払 金                  | 2,021         |
| 売 掛 金                  | 17,744        | 未 払 費 用                | 5,658         |
| 前 払 費 用                | 67            | 未 払 消 費 税              | 1,508         |
| 未 収 入 金                | 258           | 未 払 法 人 税 等            | 6,684         |
| 仮 払 金                  | 150           | 預 り 金                  | 160           |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>591</b>    | <b>負 債 合 計</b>         | <b>16,033</b> |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>591</b>    | ( 純 資 産 の 部 )          |               |
| 繰 延 税 金 資 産            | 591           | <b>株 主 資 本</b>         | <b>63,232</b> |
|                        |               | <b>資 本 金</b>           | <b>10,000</b> |
|                        |               | <b>利 益 剰 余 金</b>       | <b>53,232</b> |
|                        |               | そ の 他 利 益 剰 余 金        | 53,232        |
|                        |               | 繰 越 利 益 剰 余 金          | 53,232        |
|                        |               | ( うち 当 期 純 利 益 )       | (17,113)      |
|                        |               | <b>純 資 産 合 計</b>       | <b>63,232</b> |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>79,265</b> | <b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b> | <b>79,265</b> |

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項

#### (1) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### (2) 収益及び費用の計上基準

当社グループは、「品質向上のトータルサポート企業」を経営方針に掲げ、ソフトウェアの品質に関わるサービスを提供しており、その契約形態を主に派遣契約、準委任契約、請負契約の3つで認識しております。

派遣契約は、労働者派遣契約に基づき当社グループのエンジニアをお客様先に派遣し、顧客の指揮命令下でサービスの提供を行っており、準委任契約は当社グループの指揮命令下において、お客様との契約内容に応じた役務提供を行っております。派遣契約、準委任契約から生じる履行義務は、契約期間内の労働時間の経過により充足されるものであることから、一定の期間にわたり充足されるものであると判断しており、契約時間から超過時間および減算時間の調整を実施したうえで収益を認識しております。また、契約によるお客様の締め日が月末日と異なる場合、当該締め日から月末日までの期間の役務提供については、月末日に概算で収益を認識しております。

請負契約は、主に当社グループ拠点にてソフトウェア開発を行い、設計書等の成果物をお客様へ納品しております。請負契約から生じる履行義務は、当社グループが顧客との契約における義務を履行することにより、別の用途に転用することができない資産が生じ、かつ、顧客との契約における義務の履行を完了した部分について、対価を収受する強制力のある権利を有することから、一定の期間にわたり充足されるものであると判断しており、当該履行義務を充足する際に発生する費用を回収することを見込まれるものについては、履行義務の充足に係る進捗度に基づき収益を認識しております。履行義務の充足に係る進捗度は、原価総額の見積りに対する当連結会計年度末までの実際発生原価の割合に基づいて算定しております。また、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることができないものの、当該履行義務を充足する際に発生する費用を回収することを見込まれるものについては、履行義務の充足に係る進捗度を合理的に見積もることが出来る時まで、原価回収基準により収益を認識しております。

いずれの契約も、その月に提供した財又はサービスに直接対応する金額を、月次で顧客に請求しており、通常の支払期限は各月の締め日から概ね30日以内となっており、対価の金額に重要な金融要素は含まれておりません。

### 2. 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (1) 発行済株式の種類及び総数

| 発行済株式数の種類 | 前事業年度末 | 増 | 加 | 減  | 少 | 当事業年度末 |
|-----------|--------|---|---|----|---|--------|
| 普通株式      | 60株    | — |   | —株 |   | 60株    |

(2) 自己株式に関する事項

該当事項はありません。

(3) 配当に関する事項

該当事項はありません。

### 3. 重要な後発事象に関する注記

(吸収合併について)

当社の完全親会社であるバルテス・ホールディングス株式会社は、2025年2月26日開催の取締役会において、完全子会社であるバルテス・モバイルテクノロジー株式会社を存続会社とし、同じく完全子会社である当社を消滅会社とする吸収合併（以下、「本合併」といいます。）を実施することを決議し、同日付で合併契約を締結しております。

なお、2025年4月1日付で吸収合併を実施し同日付で存続会社であるバルテス・モバイルテクノロジー株式会社の商号を「バルテス・イノベーションズ株式会社」に変更しております。

#### 1. 企業結合の概要

##### (1)合併の目的

バルテスグループにおける経営効率化を目的に、グループ内の経営資源集約を行い、業務運営の一体化を図るため

##### (2)合併の日程

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 取締役会決議日           | 2025年2月26日 |
| 合併契約締結日           | 2025年2月26日 |
| 合併承認株主総会（本合併当時会社） | 2025年2月28日 |
| 合併効力発生日           | 2025年4月1日  |

##### (3)合併の法的形式

バルテス・モバイルテクノロジー株式会社を存続会社、フェアネスコンサルティング株式会社を消滅会社とする吸収合併

##### (4)本合併に係る割当の内容

バルテスグループの完全子会社間の合併であるため、本合併による株式割当その他の対価の交付は行わない。

##### (5)本合併に伴う新株予約権および新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項なし。

##### (6)合併後企業の名称

バルテス・イノベーションズ株式会社